

定 例 教 育 委 員 会【議 事 録】

日 時 令和7年2月7日(金)

9時30分～

場 所 岡谷市役所6階 605会議室

署名委員 小平教育委員、林教育委員

【次 第】

○ 開 会

○ 教育長報告

○ 議 題

1. 岡谷市教育委員会表彰について(非公開)【資料 No.1】 (生涯学習課)
2. 岡谷市小中学校情報機器等整備計画(案)について【資料 No.2】 (教育総務課)
3. 第7次岡谷市生涯学習推進計画(案)について【資料 No.3】 (生涯学習課)
4. 第3次岡谷市スポーツ推進計画(案)について【資料 No.4】 (スポーツ振興課)
5. 市立岡谷美術考古館条例施行規則の一部改正について【資料 No.5】 (生涯学習課)
6. 岡谷市スポーツ施設条例施行規則の一部改正について【資料 No.6】 (スポーツ振興課)

○ 報 告

1. 岡谷市議会12月定例会一般質問要旨について【資料 No.7】 (教育総務課)

○ そ の 他

- ・行事等について(各課)
- ・その他

出席委員

教育長 宮坂 享、教育長職務代理者 太田 博久、教育委員 小平 陽子、教育委員 轟 美緒、
教育委員 林 慎太郎

事務局(説明員)

教育部長 白上 淳、教育担当参事 両角 秀孝、教育総務課主幹指導主事 濱 敦志、
生涯学習課長 白田 研一、スポーツ振興課長 小松 隆広、教育総務課学校教育主幹 味澤 勝一、
教育総務課教育企画主幹 西山 塁、生涯学習推進主幹 清水 浩史、
スポーツ振興主幹 安仲 智恵子、川岸学園整備室川岸学園整備主幹 新村 尚志、
教育総務課主任 大島 俊輔

<会議録>

○開 会

宮坂教育長： それでは、ただいまより令和7年2月定例教育委員会を始めます。本日の署名委員は小平教育委員と林教育委員にお願いいたします。

○教育長報告

宮坂教育長： 初めに私から報告をします。

2月3日に立春を迎えました。二十四節気の始まりです。春を告げる花に梅がありますが、菅原道真の「東風（こち）吹かば匂ひおこせよ梅の花あるじなしとて春な忘れそ」という句や、春一番といった言葉を思い出します。新聞ではふきのとうの記事が載る時期になってきました。

富士見町の三光寺では紅梅が一番早く咲くという新聞記事もありました。今から楽しみです。

子どもたちの姿からです。

一つ目は、岡谷北部中学校の、「全国いじめ問題子どもサミット」参加につきまして、参加の一週間前に生徒たちが教育長室を訪れて、様子を聞かせてくれました。いじめ根絶に対する思いを発表し、全国の中学生から意見を聞いた内容を自校にも伝えたいという思いから、生徒会や学級長会が主体的に取り組んでいます。今までは2週間の人権旬間を、人権月間に変えたり、個人や学級で使っているチェックリストの実施回数を増やすなどの内容がありました。「人権感覚が擦り減らないように」という言葉が生徒から出てきており、絶えず人権感覚を磨いていく意識を持っている中学生をととても頼もしく感じました。

二つ目は、児童会の引継ぎで立会演説会がありました。長地小学校では立候補者が、学年を超えてなかよしになるためのアイデアなどを言っていました。また、応援者が「立候補者は陰で努力ができる人であり、応援者になったことで、素晴らしい面をたくさん見つけることができた」と発表していました。落ち着いた雰囲気があり、児童会を担う決意が感じられ、来年度がとても楽しみです。

三つ目は、科学展県入選の市長表敬訪問につきまして、岡谷市では4名が入選されました。長地小学校の八並伸之介さんは2年連続で文部科学大臣賞を受賞しました。着眼点や追及する姿も良かったです。4人とも原稿なしに発表している点も素晴らしかったです。

最後に、川岸小学校6年生が総合的な学習の時間で、岡谷市のPRパンフレットを作成しました。自分たちが実際に訪れた場所の紹介がされており、とても立派なパンフレットでした。

宮坂教育長： 次に保護者の姿から報告します。

湊小学校で行われた「なかよしプログラム」では、太田教育長職務代理者が話すと、保護者の方々の表情が柔らかくなり、参加者は本プログラムを通じて親交が深まっていました。また主任児童委員やPTA役員の方々が説明をするときも、和やかな雰囲気がありました。岡谷市の教育委員の皆さんが中心になって作り上げてくださった、「なかよしプログラム」です。これからも継続していただきたい活動だと思いました。

つづきまして、生涯学習課から岡谷美術考古館で開催されている児童版画展について報告させていただきます。

岡谷市は、版画家武井武雄が有志と共に立ち上げた、文化団体「双燈社版画部会」をきっかけに版画教育が盛んとなり、今もその伝統が受け継がれ、小学校で版画教育が行われております。

岡谷美術考古館では、児童の皆さんに版画の魅力を知ってもらうために、毎年「岡谷市内小学校児童版画展」を開催しております。

1月24日に審査会を行い、各小学校の校内選考を経て寄せられた86点から、学年ごと優秀賞と佳作を選び、優秀賞の中から、教育長賞と美術考古館長賞を決めました。

私も審査員として参加いたしましたが、子どもらしい豊かな発想の作品や、様々な技法を効果的に使った作品があり、それぞれが味わい深い力作、秀作になっていました。

なお、表彰式は、2月23日午前10時半から、美術考古館において行われます。同日まで展示しておりますので、多くの方に、子どもたちの力作をご覧いただければと思っております。

最後にスポーツ振興課関係を報告させていただきます。

岡谷市スポーツ協会主催の「スポーツ体験発表会」が、2月1日に諏訪湖ハイツで行われ、私も出席をさせていただきました。

6名の小中学生からスポーツ活動を通じて得た体験発表があり、約70名の聴講者が関心を寄せておりました。

一人ひとりの発表がとても輝いていて、ついつい聞き入ってしまいましたが、特に私の心に三つ言葉が印象に残りました。一つ目は「仲間の大切さ」、二つ目は「感謝」、三つめは「楽しく学ぶ」であります。それぞれの競技にしっかり向き合っているからこそ、そうした想いが生まれてくるわけで、とてもすばらしいことであると感じました。

発表された6名のみなさんの体験や思いを聞くことで、お互いに共感し、決意や希望など新たな思いを膨らめ、自分のこれからの生き方に重ねてい

宮坂教育長： く、素晴らしい場であったように思います。

来年も、素晴らしい発表会が開催できますことを心より期待しているところであります。

私からの報告は以上であります。

○議 題

1 岡谷市教育委員会表彰について（非公開）

宮坂教育長： 議題1 「岡谷市教育委員会表彰」につきまして、人事に関わる議題になりますので非公開とさせていただき、後ほど議論したいと思いますがよろしいでしょうか。

〈承認〉

ありがとうございます。それでは議題2 「岡谷市小中学校情報機器等整備計画（案）について」を事務局より説明をお願いします。

2 岡谷市小中学校情報機器等整備計画（案）について

＜次期 GIGA 端末（GIGA 第2期）の計画的な更新及び校内ネットワーク環境の課題等に対応する計画の策定について事務局より No.2 に基づき説明＞

宮坂教育長： ただ今の説明について、何か質問や意見がありましたらお願いします。

〈質問等なし〉

それでは、岡谷市小中学校情報機器等整備計画につきまして、教育委員会として承認したいと思いますよろしくお願いします。

〈承認〉

来年度は、第2期としての児童生徒1人1台端末の整備をはじめ、新たな校務システムへの導入やネットワーク強化など、教育DXの推進に向けた様々な取り組みを予定しています。学校と連携を取りながら、子どもたちが次期端末を発展的に使用できるよう、あわせて教職員の働き易さに等にも繋げるよう、学校に必要な情報機器等の環境整備に取り組んでまいりたいと考えております。

3 第7次岡谷市生涯学習推進計画（案）について

＜来年度から始まる第7次岡谷市生涯学習推進計画の案について、事務局より No.3 に基づき説明＞

小平教育委員： 障がいのある方への対応につきまして、具体的に記載されている箇所はあるのでしょうか。

事務局（清水）： 16ページの細施策4が該当します。第7次計画から新たに追加した部分です。学びの場や機会の提供、及び文化芸術活動発表の環境づくりに努める内容になっています。

小平教育委員： 使われている写真とはどのような関連性があるのでしょうか。

事務局（清水）： こちらの写真は、前のページに記載されている基本目標「様々な学びの形作り」に関わる写真になります。

小平教育委員： 今までは障がい者の方を対象とした講座は設けていたのでしょうか。

事務局（清水）： 生涯学習課ではそういった講座はありませんでした。今後は他課と協力しながら進めてまいりたいと思います。

轟教育委員： 以前の定例教育委員会でお伝えした内容を反映していただきありがとうございます。表紙や裏表紙のデザインがとても良いと思います。目に触れた時に、読んでみようと思える印象になったと思います。

「岡谷市学びの紡ぎ応援プラン」とあるように、「紡ぐ」という言葉がキーワードになっています。学びの機会を紡いでいくという認識でいますが、14ページに「未来へ紡ぐ」という文章があります。「紡ぐ」という言葉は「作る」という意味合いも含まれていますが、辞書で調べると「つなぐ」といった意味は含まれていません。そのため「未来へ紡ぐ」という文に少し違和感があります。「未来を紡ぐ」なら正しい言葉のように感じます。

事務局（白田）： 前回の6次計画から「未来へ紡ぐ」という文章は使われています。その際は、「自ら学ぶ」「仲間との交流や地域全体の繋がりを経て未来へ伝えていく」といったニュアンスで使われています。

轟教育委員： ある紡績会社では、紡ぐという言葉で「たくさんのものの中から、選び、つないで新たな形にしていく」という思いを込めて使っているようです。紡績会社なので、紡ぐという言葉に対して敏感であり、大切に使いしていきたいという意識があるようです。岡谷市もシルクに関連して、「紡ぐ」「織る」といった言葉を使いたい場面があると思いますが、適切に大切に使うためにも正しい言葉の意味を意識して使うことも必要だと感じました。なかなか難しいとは思いますがよろしくお願いします。

事務局（瀨）： 第6次計画の作成には携わっていないので、個人的な意見ではありますが、2ページに基本目標の「未来につなぐ学びづくり」とあります。未来に向かって紡ぐのは学びであり、そういったニュアンスで捉えれば「未来へ紡ぐ」も捉えることができると思います。

事務局（両角）： 14ページの内容につきましては6次計画の総括になります。そのため、このような文言で行われていた計画だったという認識でお願いをしたいと思います。ただし、第7次計画の中で同じような言い回しがされている個所があれば、今のような視点で文章が正しいか検討は必要であると思います。

「紡ぐ」という言葉は市民の方も含め、日々の生活の中ではあまり使われない言葉ではあると思いますが、岡谷にとってはシルク岡谷の歴史があり、紡ぎを体験できるまちづくりを進めています。言葉の軸足を未来に置くのなら、委員さんが感じられていることも分かりますが、現在の学びの環境を未来へ、というメッセージ性を込めているので、言葉の意味として正しい使い方であります。

事務局（白田）： ただいまご説明いただいたように、前計画で既に使われてきた文言になりますので、この部分につきましては修正をせずに、このままご理解をいただきたいと思います。

轟教育委員： 今後の計画の中で、紡ぐ、織る等の言葉を使う場面はあると思いますので、言葉の本質的な意味合いがずれないように意識することは大切だと改めて感じました。

宮坂教育長： 岡谷では大切にしている言葉なので、その言葉を使った意図や願いは今後の大切にしていきたいと思います。

太田教育長職務代理者： 18ページに「施策3 文化施設の活用」があり、美術考古館の活用について触れられています。関連団体の皆さんと一緒に今後のあり方について検討を重ねていますので、その検討会についても、本計画に含めても良いのではないかと思います。具体的な内容についてはまだ載せることはできないと思いますが、いかがでしょうか。

事務局（白田）： 「文化を核にしたまちづくり」という言葉の中にそれらの意味も凝縮しております。具体的な内容についてもこれから決めていくということもあり、今回はこの言葉に留めさせていただきました。

太田教育長職務代理者： 一つの意見ですので、追記の有無については事務局にお任せします。ありがとうございました。

林教育委員： この計画が市民の皆さんに開示されていく流れについてご説明いただけますでしょうか。

事務局（清水）： ホームページへの掲載をいたします。また、概要版の作成をしており、市内の公共施設への配布を考えております。

林教育委員： ホームページにも載せていただけるとの事ですので、もし可能であれば、QRコードも活用して周知を進めていただければより効率的になると思います。

小平教育委員： 小さなのぼりを使って周知することもできると思います。そこにQRコードを載せるのも一つの方法です。

宮坂教育長： それでは「第7次岡谷市生涯学習推進計画」を教育委員会として決定したいと思います。よろしいでしょうか。

〈決定〉

本計画につきましては、教育委員の皆様からも様々なご意見・ご提案をいただき策定することができました。ありがとうございました。

今後につきましては、本計画に基づき、なお一層、生涯学習の推進を図ってまいりますので、引き続き、ご理解、ご協力を賜りますよう、お願いいたします。

4 第3次岡谷市スポーツ推進計画（案）について

＜来年度から始まる第3次岡谷市スポーツ推進計画の案について、事務局より No.4 に基づき説明＞

轟教育委員： 素案と比べると、章ごとに色分けやフォントの変更がされており、とても見やすくなったと思います。西暦と和暦を両方入れていただいている点も見やすさにつながっていると思います。

2ページに「つくる/はぐくむ」「あつまり、ともに、つながる」「誰もがアクセスできる」という三つの視点について載っていますが、具体的に計画のどの部分に反映されているのでしょうか。

事務局（安仲）： こちらにつきましては、国の第3期スポーツ計画で使われている言葉になります。岡谷市の場合、「つくる/はぐくむ」は、これから子どもたちに焦点をあて、スポーツができる環境を整えていくと捉えて計画を策定しております。「あつまり、ともに、つながる」「誰もがアクセスできる」につきましては、参加しやすさと捉えています。そのため、これらの言葉をそのまま使っている訳ではなく、その内容を市の計画に含めています。

轟教育委員： 先日、スワンドームで行われたVC長野トライデンツの試合を観戦しました。私が行った日はVC長野トライデンツが勝った日でした。とても白熱した試合で、観客も1,200人を超えておりました。皆さんもぜひ

轟教育委員：行ってみてください。大変な盛り上がりでした。

小平教育委員：とても見やすく面白い計画になっています。アンケート結果も非常に役に立つご意見が多く載っています。幅広い世代の方々に役立つような情報が含まれている計画だと思いました。

林教育委員：生涯学習の計画と同じ意見になりますが、やはり広く周知する方法について工夫をしていただきたいと思います。国民スポーツ大会も3年後に控えているので、早い段階で市民の皆さんに周知が必要だと思います。最終満足度の目標が80%となっていますが、非常に高い目標だと思いますので、今から動くことが重要だと思います。

宮坂教育長：それでは「第3次岡谷市スポーツ推進計画」を教育委員会として決定したいと思いますがよろしいでしょうか。

〈決定〉

本計画につきましては、教育委員の皆様からも様々なご意見・ご提案をいただき策定することができました。ありがとうございました。

今後につきましては、本計画に基づき、なお一層、生涯学習の推進を図ってまいりますので、引き続き、ご理解、ご協力を賜りますよう、お願いいたします。

5 市立岡谷美術考古館条例施行規則の一部改正について

＜施設使用料、手数料についての庁内一斉見直しに伴う、市立岡谷美術考古館の使用許可申請書等の様式変更について、事務局より No.5 に基づき説明＞

6 岡谷市スポーツ施設条例施行規則の一部改正について

＜施設使用料、手数料についての庁内一斉見直しに伴う、岡谷市民水泳プールの使用許可申請書等の様式変更について、事務局より No.6 に基づき説明＞

○報 告

1. 岡谷市議会 12 月定例会一般質問要旨について

＜岡谷市議会 12 月定例会一般質問の要旨について、資料 No.7 に基づき事務局より説明＞

○その他

・行事等について（各課）

＜各課より行事予定について説明＞

宮坂教育長： ありがとうございます。
 それでは事務局より次回開催予定についてお願いいたします。

事務局（両角）： 次回の定例教育委員会は
 3月13日（木）9時30分から605会議室を予定しています。
 よろしくお願いいたします。

宮坂教育長： ありがとうございました。
 続いて非公開の議題に進みます。

○議題（非公開）

1. 岡谷市教育委員会表彰について

11 時 30 分 終了

岡谷市教育委員会会議規則第20条により署名する。

令和 7 年 3 月 13 日

教 育 長

宮 坂 享

署 名 委 員

林 慎太郎

署 名 委 員

小 平 陽子

調 製 職 員

白 上 淳